

香川高等専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	芸術Ⅱ(書道)
科目基礎情報				
科目番号	0029	科目区分	一般 / 選択必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般教育科(詫問)	対象学年	2	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	今井凌雪著「新編 書道Ⅱ」 教育出版			
担当教員	南 貴之,正田 幸子			
到達目標				
これまでの学習内容と関連づけながら、表現と鑑賞の能力を育てるとともに、古典の臨書と創作を通して、書の美への探求がより充実、深化したものとなるようにする。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1 書が求める美とは何かを考える	書が求める美とは何かを考える ことができる。	書が求める美とは何かをある程度 考える ことができる。	書が求める美とは何かを考える ことができない。	
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 A 学習・教育到達度目標 B				
教育方法等				
概要	これまでの学習内容と関連づけながら、表現と鑑賞の能力を育てるとともに、古典の臨書と創作を通して、書の美への探求がより充実、深化したものとなるようにする。			
授業の進め方・方法	表現の学習では、実技を通して臨書と創作をする。 多様な書の美への関心と鑑賞の必要性を理解させ、美を追求する姿勢を確立させる。			
注意点	毎時間、清書作品を提出させ、学習到達度評価を行うとともに、授業態度等も加味した総合評価を行う。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
1stQ	1週	書の美を求めて	書が求める美とは何かを考える A3:1	
	2週	篆書の学習 さまざまな篆書	書が求める美とは何かを考える A3:1	
	3週	石鼓文の鑑賞と臨書	特徴を確かめ、その特性を確認するA3:1	
	4週	金文の鑑賞と臨書	それぞれの特徴を確かめ、表現へ結びつけるようするA3:2	
	5週	隸書の学習 さまざまな隸書	特徴を確かめ、表現へ結びつけるようする A3:2	
	6週	隸書の特徴	特徴を確かめ、その特性を確認するA3:2	
	7週	曹全碑の鑑賞と臨書	特徴を確かめ、その特性を確認するA3:2	
	8週	行草書の学習 風信帖の鑑賞と臨書	特徴を確かめ、その特性を確認するA3:2	
前期	9週	行書の創作	漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意図した表現に近づけるようする。B2:1	
	10週	楷書の学習 整齊の美と均衡の美	漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意図した表現に近づけるようする。B2:1	
	11週	仮名の書の学習 種類、特徴	漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意図した表現に近づけるようする。B2:1	
	12週	漢字仮名交じりの書の学習	漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意図した表現に近づけるようする。B2:1	
	13週	体の趣を生かした表現の工夫	漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意図した表現に近づけるようする。B2:1	
	14週	古名跡を応用しての表現	漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意団した表現に近づけるようする。B2:1	
	15週	全体構成の工夫	漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意団した表現に近づけるようする。B2:1	
	16週	全体構成の工夫	漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意団した表現に近づけるようする。B2:1	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	試験	発表	相互評価	態度 ポートフォリオ その他 合計
総合評価割合	0	100	0	0 0 100

基礎的能力	0	100	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0